京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

時事片言

みざる

▲過日の紙上に於て申し述べ置き候通り近來韓國觀光團が關西の諸所に組織され不日來韓せらるゝ由に候が之れ洵に結構のことに候、唯主催者其の人にあつては飽迄誠心誠意を以て其の局に當られ會員は勿論世人より一點忌はしき批難を受けざるやう望ましく候、兎角此のやうな催しは後に至りて主催者の間に面白からざる評判起り、彼れ是れ問者の生ずるものに候ツマり興行的色彩を帶ぶることが其の最大原因と存候

▲而して京城の韓人側に於ては是等の觀光團を歡迎歡送せんが爲めに寄り／＼種々の準備をなし居る連中有之やうに候、現に南部明善坊會にては去月二十九日奬忠壇に於て臨時總會を開き委員五十名を選出して歡迎歡送の任に當らしめんことを決議し又西大門内圓覺社にては去月三十日臨時總會を開き各戸に日韓の兩國旗を掲揚する事に夜間は毬燈を吊すべきこと等を決議し何れも一日も早く是等觀光團の入京せられんことを待ち構へ居るものゝ如く候

▲されはにや是等の主催者及び會員にあつては注意の上にも注意を拂ひ飽迄も宗主國民としての體面と威信とを保たれたく希望いたし候もしれ客氣取りにてれ祭り的騷ぎのすきな韓人に祭り込まるゝやうならば始めより渡韓せざる方がマシに候

▲ルーズベルト氏の猛獸狩を野蠻なる無益の殺生と批難せしは米國の動物學者ロング氏に候、流石は動物學者丈ありて動物に對する同情有之やうに相見え候、されど這は事更にル氏の壯擧を誹謗するものにして此の批評を聞きしものは却つてロング氏の心事を卑下いだすべく候、既に猛獸ヽり之を擊ち之を殪し之を屠る何の不可か有之候哉余輩は寧ろル氏の壯擧を稱揚し延いては偉丈夫の豪懐が常に如斯壯擧に出でんことを望み居り候、殊に東洋の所謂豪傑者流に向つて切に此の感を催うし候、狂酒痛飲夜を徹して醒らず抱花攀柳日を連ねて衰へずなどいふ變的行爲は飽迄余輩の唾棄する所に候、思ふに日本に於ける現代の政治家等は少しくル氏に鑑みる所ありて可なるべへと存じ候

文苑

王者の主權

片々子

君斯丹珍能保駐在の各國大使が土國前帝アミダルハビットより收賄せる風說ありとの電報あり、果して事實なりや否は知らざるも、土國の國情より察すれば決して此事なきを保せず、之に就て韓半島の近き過去を顧れば轉た東西其揆を一にするの感なくんばあらず、何れの國も同じ事なるが癈王が主權を回復するに熱中せるは傍の見る目より可笑しき位也、主權は左程に愛着すべきものなるか、一度主權を握りたるものは何れも是に戀々たらざるはなし之に[illegible]れば華盛頓が國民に強請せらるゝも憲法を遵守して第三期の大統領を辭したるが如き實に欽す可く掬す可き也

百人一首讀替（八）

ますゑ女史投

●文屋朝康●　たま露のたれはこぼるゝ秋のあさ　そよ吹風にたまぞちりたつ

●右　近●　忘れじとたゞ一すじにちかひたる　みをもはたさでれしき命を

●参議等●　若菜つむ野邊にたちたるしのぶ草　しるや知ずや堪ねこひしさ

●平兼盛●　秘すれども顯はれにけるわか思ひ　とはれて寫す戀の水かゞみ

●壬生忠見●　立のほるけむりにひとし我こひは　しられぬはつの思なりしを

●清原元輔●　かわらじとたがいに袖にみつ涙　越すなみなくば松の緑りと

俳句

麥村

●自選四句●

後よりのゝしり掛かる群蛙

蛙なく聞にく遠く砧きく

精米の止むや蛙の聲靜か

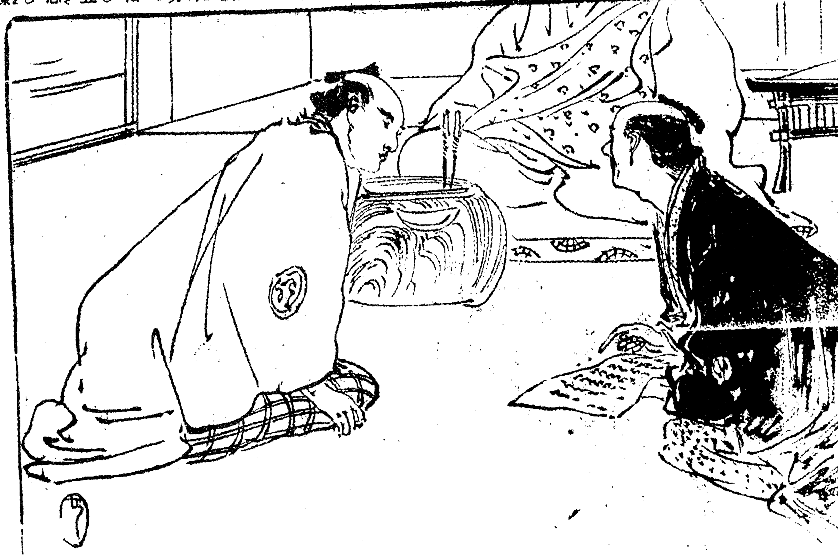
靜なり筆執る窓の夕蛙



佐倉宗吾（九十八）

眞龍齋貞水講演

宗「夫より安治喜から滑川の觀音堂の庵まで參りますと、又堀田役人十四五人のため取捲かれましたが、井筒屋五郎兵衛主從の働きにて危くも其場を遁れましたが、又押へられましたから、此度こそは逃れぬものと思ひますと、何れの者か知りませぬが、大勢の者が出て助けてくれました、多分滑川村の新五郎が助けてくれたのでございませう」圓「滑川と云へば恐僧の故鄕で父母の育つた所その滑川の觀音堂で、災難を逃れたとは喜ばしき事である　宗「それは一つは井筒屋さんの御蔭でございます、何しろそれから先きは、駕籠に乗りますと、却て眼に立ちますから、日本橋の魚屋で魚を積出します魚船に乗りまして、新堀の川岸へ着きまして此方へ逃れるやうな事情で駕籠を擔いでくれました若い者は、途中から先きへ戻りましたやうな次第でございます　圓「アヽそれは御苦勞である、それでは既うお前は、思ひ置く事はないか　宗「御陰様で、最う何も思ひ置く事はございませぬ　圓「併ながらお前が愈よ御直訴をして御處刑に成つたとならば、一個の村の者も、却て之がため、一時は迷惑をするかも知れないが、後日は必ず宜いであらう、就いては妻子は無論、所拂にでも成る事であらうと愚僧も考へて居るが、妻子は如何手筈いたした　宗「イヤもう其事は、能く言ひ聽かして參りました兎に角安治喜の島屋方へ、一旦立退くやうに話して參りましたが、井筒屋五郎兵衛殿も後を引受けてやると言はれましたから、誠に私は、有難いのでございます　圓「イヤさう云ふ事情ならば、十二月二十日の御成を待つてくれね　宗「ハア有難う存じます」そこで井筒屋五郎兵衛を喚込んで、圓珠院様が　圓「さて五郎兵衛此度は宗五郎を國表まで送つて、妻子に別れを告げさせてくれしはなか／＼並大抵の者では、出來得る事でない、お前が眞の義侠から致して、是だけの事を努めくれたるは、愚僧は誠に喜ばしく存ずる　五「何うも恐れ入りました、貴僧様から其御言葉を頂戴いたしますれば、千萬金の御禮を頂戴したより、此私の身に取りましても、有難い次第に存じます、もう私は斯う云ふ事で、聊か御役に立ちますれば何より仕合に存じます、實は譲ても申し上げました通り、私は上州の産で、木崎に於て人を殺し、終に江戸へ逃れまして、此上野へ駈込んだため、生命が助かる計りか、今ぢや三十六坊へ御出入を致し、多くの人を御引受け申し、井筒屋五郎兵衛と謂つて何ひとつ不自由なく暮しますのは、皆な此方様の御蔭でございます、斯う云ふ時こそ御奉公しなければ成りませぬ　圓「何う云ふ御禮を仰せられましては、却て痛み入りまする、併し私の身に取つては、有難い御言葉でございます　圓「イヤ其身は天晴な者である」此時に宗五は、向ふの方で、何か認めて居りましたが　宗「ちよつと井筒屋さん　五「ハイ　宗「是は私が認めました、此度の始末書でございまして、貴下への御禮状でございます、と云ふのは、貴下が此程私を故鄕へ御伴れ下さいまして、妻子に別れを告げて還へります途中、危き所を御助け下さいました、其次第を一通り認めましたものでございます、私が御處刑に成りました後に、貴下の御家に是が遺つて居りますれば、何年の後、下總佐倉の城守堀田様御領分の木内宗五郎と云ふ者が、斯う云ふ難儀をした時に救つてやつたと云ふ事が、貴下の御子孫の家に遺りますから、何卒貴下之を御取置を願ひます　五「イヤ何うも其りや宗五様有難う存じます、お前さんが金子や品物で、私に御禮をなすつたつて、迚も受ける事ぢやございませぬが、此御書付だけは頂いて置きませう、私が何も自分の子や孫に、自慢らしく遺すのぢやございませぬが、人と云ふ者は、萬一の時に斯う云ふ事をするものだと、讀んで見た者が得心をしまして、此後何かあつた時に、私の子や孫が御奉公しない限りもございませぬから、是は有難く頂戴いたします　宗「希か願うなすつて下さい」



寄書

韓國中央銀行論(二)

ケー、シー生

(其二)

●韓國中央銀行に紙幣發行權を與ふべきや否や

●一國中央銀行は政府の保護者と爲り財界一般の信用を保護するは中央銀行の重なる職分なり又多數の銀行に對し之を監督し卓立して銀行の銀行たり金融市場の状況に應じて資金を供給するは中央銀行の大なる責務なり其職分責務已に斯くの如くなりとせば之れにも紙幣發行の特權を與へて其効用を充分ならしむべきは論理上當然の特權にして何人も異議を挟む餘地なかるべし紙幣發行の特權なき中央銀行ありとせば其名中央銀行たるも其實中央銀行にあらず何となれば前顧の職分と責務の遂行は到底望み能はざればなり

●理論上に此の如し韓國に中央銀行を創設する以上は之に紙幣發行の特權を與へて保護の途を立つべきこと極めて明白の事實なりと雖も翻て韓國現下の財政經濟の實情に鑑み中央銀行が果して克く中央銀行たるの本能を發揮し得るや語を換へて示せば**正貨準備の保護者**として又**資金供給の源泉**として其効用を全ふし得べきや否、此點は當局及び識者の疑問なり、●近年に於ける韓國貿易の實際は輸入常に輸出に超過すること約**二千萬圓**(輸出に金塊を含む)なり、而して此貿易逆潮の趨勢は近き將來に於て回復し得べきものに非ず、必ずや遠き將來に於て韓國の產業發達して輸出の増進を見たる上に關稅政策改善の時機(輸出稅を全廢して輸入稅を適當に引上ぐとの意味)を待たざるべからず、事若し斯の如くなりとすれば好し中央銀行を設立して兌換紙幣を發行せしむるとも**貿易逆潮の急勢に支配**せられて**正貨は洛々として國外に流出**し二三年を出でずして**其發行紙幣は全然無準備の紙幣化**し、茲に兌換券の聲價は**低落**し資金供給の**實力は空乏**となり延ひて**政府財政の信用地に墜ち**一般經濟界をして不安の狀態に陥らしむるの患なきや否、之れ余輩の最も懸念に堪ざるところなり、當局幸に非常獨特の手段に依り而かも**永遠**に且つ**確實に準備正貨の流出を防ぐべき成案**ありとせば可なり、若之れなくして徒らに中央銀行たるの名目に拘泥して紙幣發行の特權を附與するあらば財政經濟界に測るべからざるの禍害を貽すなきを保せず、此に於て余輩は韓國中央銀行に紙幣發行權を與ふるの議に對し敢て異論を唱導するにあらざるも先づ附帶の條件として當局の考慮を促さんとするは韓國の貿易が順潮に達するの時即ち產業發達して輸出増進し貿易の出入權衡を保つに至る迄の間如何にして**正貨の流出を防止**すべきか此點に關し豫め正確なる方法を案出するの緊要なるを警告せんと欲す。

東京電報

▲新税と政黨

韓國酒、烟草、家屋三税實施に關しては政友會、又新會にも反對者尠からず又進歩黨非改革派は中心となりて運動中なり

▲赤十字總會

日本赤十字社總會は本日日比谷公園に開會、皇后陛下東宮殿下、閑院宮殿下臨御せられたり會衆十萬人空前の盛況なり

▲技師の渡韓

鳥取縣技師石津和風氏韓國へ出張を命ぜられたり

(以上四日午前發)

外報一束

●波斯形勢暗澹

波斯の形勢は益暗澹たり土耳其兵士若干と波斯カルド人八二千より成る一團は土耳其兵のカルド人を將として波斯國境の一地方を占領せんとしつゝありと

●國民黨と露土

波斯國ブリッズ市の國民黨は同地に駐屯せる露國軍隊の行動に恐惧し其首領等は土耳其領事館内に避難せる由

●英米協約冷評

桑港コール新聞は一日の社說にて英米海軍協約說を論したるが是れ英國が獨逸海軍の膨脹に恐れを抱き案出せる小策略に過ぎず米國は責任多きも自ら處理すべしと云ひクロニクルも亦協約說を冷評したる後英國は寧ろ米國と協力して各國軍備の撤退に努むべしと云へり

●獨逸秘密計畫

獨逸は其艦隊擴張に伴へる充分なる船渠設備を有するの計畫なしと號すれども愼重なる探究の結果充分なる準備を整へつゝあること曝露せられり

●獨逸の新税案

獨逸帝國議會財政委員會は政府の反對あるにも拘はらず公債及證券の課税并に水車業税、石炭輸出税の賦課を可決せりと

雜報

●關稅機關擴張

韓國關稅機關としては關稅局の下に釜山、元山、鎭南浦、仁川の四稅關新義州、木浦、群山、馬山、城津の六稅關支署及び南大門、新義州、龍岩浦の三出張所あるのみなるが現在の機關にては到底清國及滿韓方面よりの密輸出入貿易船を取締る能はざるを以て近く多數の支署出張所を增設する計畫中なりと

●道書記官會議(三日目)

一昨三日の道書記官會議は昨紙所報の如く地方費賦課の種類、賦課の程度、課率、納期等に關する件なるが會議の結果各書記官の意見區々に分れ且議論百出したるを以て重ねて打合會を開くことゝし第二諮問事項に移りたるが這は勸業、土木を主として其他に使用する事に意嚮一致したり次に罹災救助に關する件は地方費を根據とすることに決定し又地方財產に關する件地方費を以て支辨する官吏に關する件は澤田議長の說明のみにて會議に移さず午後四時散會したり尙昨四日は今回の諮問事項中地方費に關する事項に次きての問題たる面長職制の件に就き各書記官順次地方の狀況に照らし意見を開陳する處ありたり次に水利組合に關する件をも討究諮問し午後四時半散會

●森林法實施現況

昨年一月韓國森林法實施以來客月末日迄に部分林の設定を出願したるもの二百六十件に達したるが其中許可濟のもの七件、不許可と決せしもの六十七件は目下審議中なり許可者の氏名左の如し

▲慶南東萊府中面(絶影島の西部)面積七十町步釜山民團長石原半右衛門▲慶南密陽郡府内面字龍頭山面積七町步藤原元太郎▲同郡同面積一百三十町步朴秉德▲忠南秦安郡所在面積一百四十一町九反迫間房次郎外六名▲京畿道漢城府西部面積七町五反兪吉濬△漢城府西部面積七町五反李夏榮

即ち許可面積は合計五百七十二町步に過ぎざる有樣なれば韓國殖林業の前途も尙遼遠と云はざる可からず

●日本漁民と根據地

日本各府縣が縣費又は郡費を以て朝鮮海に漁業の經營を爲しつゝあるが其の費用は最近の調査に依れば其高凡そ二十三萬餘圓にして根據地及移住地を得んとするもの甚だ多きを以て農商工部水產局に於ては奬勵上其位置方法等の撰定を爲すべく目下調査中なりと云ふ

●新舊貨幣の現狀

▲舊貨幣引換及買上 先月末韓國に於ける新舊貨幣の現狀は如左

白銅貨九、一六四、九九九圓 銀貨四〇一、〇六〇圓 赤銅貨六二一、六九五圓 葉錢二、〇九八、四一一圓 支那葉錢六七圓 鐵錢二 黃銅九五 鉛錢一八圓

▲新銀幣鑄造高 新金貨一、四五〇、〇〇〇圓 新銀貨四、四六五、〇〇〇圓 新白銅貨一八〇〇、〇〇〇圓 新青銅貨四九一、〇〇〇圓

●新税と滯納處分

酒、烟草、家屋の新三税實施に就ては各地反對者多く廢税又は施行延期を出願する者續出せる有樣なるが度支部當局に於ては韓人は勿論外人に對しても假借なく徴税を强行し若し應せざる者は本年二月十八日法律第五號を以て發布したる國稅徴收法中の滯納處分の條項に照し處分する方針なりと云

●水產組合の擴張

朝鮮海水產組合にては今回左記十箇所に支部及出張所を新設し組合員の保護取締及韓國漁民の漁業法に依る出願手續等の利便を計る筈なりと云ふ

咸北城津	平北龍岩浦	江原竹邊洞	
慶北浦項	全南左水營	同 法聖浦	
同濟州島	忠南安興鎭	黃海龍湖島	
平北何日里浦			

●命令航路の概況

釜山汽船會社より農商工部へ提出したる最近の報告書に依れば釜山麗水間は著るしく發展し各地とも輸出入多く又濟州島釜山間の貿易も益々繁盛の現象を呈したるが由來濟州島は主として木浦より物資の供給を仰ぎ釜山濟州島間航路開始以來主なる需用品石油、燐寸、木綿は釜山港より供給する狀態となれりと

●普通學校訓導任命

今回各地に增設さるべき公立普通學校本科訓導兼數監十二名任命發表されたり

原川	早川 勇	術州	高野 寬	
尾州	吉良 逸世	安城	筒井松太郎	
江鏡	小佐々峰太郎	東萊	右田 乘辰	
濟州	橋口龍太郎	晉州	古市 儀之助	
義州	湯本 颶	公州	中村 浩	
鏡城	黑木 虎男	全州	二町 經夫	

●滿洲大豆の有望

滿洲大豆豆糟の輸出は近來歐洲地方に新需用地を得たると共に將來益々好況に向へるが今回大連三井物產會社を通じて五千噸程の高粱英某商會に賣り込みたりとの事なるが其用途は未だ試驗中なる由なるも鬼に角價値あるものと決し多くはウヰスキー製造原料となす由なり

●三稅免除請願却下

五月廿七日付江景日本人會長の提出に係る韓國政府の家屋稅外二稅免除に關する請願書は所轄理事官を經て統監府に送達し來りたるも元來本稅の施行に就ては日韓兩國今日の關係に鑑み決定したるものなれば最早や免除の議は詮議の餘地なきとの事を諭聞し人に諭論せられたき旨統監府より所轄理事廳へ向け通牒を發したりと

●五月中京城居留民

京城居留民團役所の調査に係る五月中の居留民戶口增減並びに累計を聞くに戶數に於て增二百七十八、減三十五、戶數總計七千百二十戶人口に於て男增六百三十二減七十三、女增四百九十七、減七十三、男總計一萬三千八百五十す、女總計一萬一千百八十四合計二萬五千〇三十四人なりといふ

●日本觀光團迎接

漢城府民團にては六日に渡韓する日本觀光團迎接の爲め帝國新聞社長鄭雲復氏を代表者として三日釜山に派したる由

●製鹽と清國人夫

鎭南浦廣梁灣の鹽田開作工事は去月以來韓國人夫一千五百人を使用し着々進捗中なるが該事業に清國人を使用し韓人夫を使用せざるに就ては往々疑を懷く者あるのみならず既に同地方韓人間には多少の物議を招けりとの事なるが右は第一に清人即ち山東省金州半島等の清國人夫は天日製鹽の經驗を有するも韓人には何等の經驗なき事第二清國人夫は一日三十錢の賃金にて使用し得るも韓人夫は一日五十錢を要する故なりと

●兩氏彙報

チロル モリソン 兩氏彙報

▲兩氏の入京 倫敦タイムス外報部長チロル氏及同北京特派通信員ドクトルモリソン氏は四日午後八時二十分南大門驛に無事着入京ソンタック邸に投宿せり

▲統監邸晩餐會 統監府にては石塚長官事務取扱鍋島外務部長主人役となり五日夜統監邸に於て前記兩氏の爲めに晩餐會を催す由なり

▲英總領事晩餐會 英國總領事館にては六日夜前記兩氏を招待し晩餐會を催すとの事なり

▲經濟協會歡迎會 韓國經濟協會にては前記兩氏を招待し午餐會を催すとの事なるが日時は多分六日正午十二時ならん

▲兩氏謁見 チロル、モリソン兩氏は七日韓皇に謁見すべし

社告

韓國政府が利權回收の第一着手として我第一銀行より銀行券發行の特權を取上げんと企てつゝあることは最早公然の秘密にして是れ吾人日本人にとりては大大なる經濟問題なると同時に大なる政治問題なり本紙は此際韓政府及び第一銀行の利害と離れたる本問題に對する獨立の意見を世に紹介せんとす仰ぎ願はくは我愛讀者諸君本社の微意を諒せられ續々御寄稿あらんことを

六月

京城新報社

●公立學校職員會

京城市内官公立普通學校及師範學校にては一校二三名宛の敎授を交換して授業に當り敎授上の研究をなしつゝありしが之等の敎員約三十名は五日午後二時より學部に會合して授業上の打合せ及報告をなす由なり

●國有未墾地許可

國有未墾地利用法に依り利用許可されたるもの左の如し

▲京畿道南陽郡金川浦千潟百五十町七反水田用平北沿洞原郡吉素弘外八名▲京畿道南陽郡大阜面千潟及草生地三十七町八反京城中部鐵幸園致說外一名▲黃海道海州郡千潟七十一町六反黃海道黃涧朴峯允外二名▲黃海道白川郡既墾地二十九町干潟十三町七反總面四十町六反國民農業社長洪肯燦

●南海岸の海苔業

韓國南海岸なる突山莞島、珍島、智島の各群島に於ける海苔は品質良好なるも右は從來韓人の事業に屬せしとて其製法粗雜に失し稚介岩石の細片附着し海羅苔海苔を混じ色澤も亦不良なれども香味は外觀の粗惡に反し佳良なれば若し此製造に留意し改良を施さば良好の逸品を得べしとの事なるが近々邦人某氏着手經營する由

●移住漁業の計畫

山口縣豐浦郡宇賀村山本某氏は移住の目的を以て全羅南道上秋子島大作里へ漁業根據地を定むべく目下漁舍の建築等に就き準備計畫中なりといふ

●大分縣の韓海漁業

這般大分縣にては韓海出漁組合を組織したるが右は縣よりも補助金を下附することゝなりたるより實地調査及び根據地の選定として縣の有力者八名は過日木浦に來り根據地選定の由

●仁川實業學校開校式

仁川日語學校を實業學校に改正したることは曩に報道せしが今五日いよいよ開校式を舉行する由にて學部にては從谷第一課長臨席すべしと

●大邱小學校の建築

大邱民團立小學校舍工事は八千九百四十五圓にて來十日起工九月七日竣工の見込なりと

●岸本氏の辯護士廢業

明治大學校長にして辯護士の職に從事せる法學博士岸本辰雄氏は近來同大學が著しく發展し校務の繁劇を加へ來りしと二つには學界の服類を曠ると專心同大學の爲め盡瘁することゝなりたるに就き今回辯護士の職を罷め同時に辯護士名簿の登錄取り消し方を申請したりと

●釜山民團稅徴收額

本年度第一期の納稅調查額は二万六千六百八十一圓にて去月二十五日限りのものの月末迄にて納入を終りし金額は七千五百九十四圓四十九錢なり此人員二千四百四十七人約四分の一弱に當ると

●群山の守備隊歡迎

今回群山守備隊として新たに派遣せられたる步兵隊は三日着群せしにつき理事官民長等の發起にて同隊少佐以下將校約二十名を招待し歡迎會を催す筈なりといふ

●三重縣の鯖釣試驗船

三重縣技手黑木某氏は韓海に於ける鯖の流網及び一本釣の成績を試驗せんと過日試驗船朝熊丸を率ひ目下漁場の巡試中なりと

●女學校の聯合會

目韓女子義塾長金仁和及尹貞媛等の發起にて官私立女學校の聯合會を催す爲め今五日午后二時より北部北洞の進明女學校内にて相談會を開催する由

●南山本願寺說敎

同寺にては土曜日につき依例午後八時より說敎あり

●敍任辭令(五月廿四日附)

補京城區裁判所檢事給七級俸 檢事 南 勇斌

補大邱區裁判所檢事給七級俸 檢事 青山 暢性

公人私人

▲永嶋巖(平壤控訴院長) 三日歸任

▲向井嚴(同 檢事長) 同上

▲土井庸太郎(大邱控訴院長) 同上

▲黑川穰(同 檢事長) 同上

▲岩田孝蔵(公州地方裁判所長) 同上

▲鈴木五三郎(同 檢事長) 同上

▲關口中(晉州地方裁判所檢事長) 同上

▲島山虎也太(大邱同裁判所長) 同上

▲吉田鍵六郎(同 檢事長) 同上

▲勅使河原健之助(公州同裁判所長) 同上

▲岩井以明(同 檢事長) 同上

▲元木直一(平壤同裁判所長) 同上

▲兼重次郎(同 檢事長) 同上

▲松村政記(晉州監獄典獄) 三日歸任

▲三井久勝(平壤同) 同上

▲古垣宗次郎(光州同) 同上

▲諏訪善太郎(咸興同) 同上

▲芋川正義(海州同) 同上

▲富山要次郎(大邱同) 同上

▲金子勝太郎(福岡縣會議員) 馬山より京浦尾へ

▲石崎敏行(同縣佐賀郡參事員) 同上

▲能美太一(同縣同郡會議員) 同上

▲田中慶助(同縣同郡部長) 同上

近事片々

▲統監 更迭に就ては種々雜多の風說あり

▲統監 更迭に就ては種々雜多の風說あれど察して想像臆測に過ぎず統監の意では唯失望の事

▲曾禰 子爵任命件はヤレ韓廷各部協合のヤレ觀察使を日本人にするとか揣摩百出

▲果して事實ならば曾禰主張する所なれば無論數ふべきも迚も此英斷望束なからん

▲一方には伊公に花を持たせて當分現狀維持說との說あり困つた事だか或は事實か

▲新統監に後れて伊公も來韓し韓皇に暇乞をし韓廷及統監府に最後の訓示せんと

▲伊公の性格此事必ずあらん是に依り下最後を飾る此點に於ては公は中々上手者也

▲曾禰子爵の確定せるを聞き李完用ホツト一息更に地盤を堅むるに汲々たりと

▲完用君の勢力範圍は着々擴まり舊亡命者を懷攬し更に根深一派に迄及ぶとは實に

▲機を見て變に處するは完用君の長所而も大膽なる計謀をなす韓國策士中の大立物

▲滿洲に於ける都督側と外務側との暗鬪は今尙は止まずと聞くては滿洲經營もダメ

▲內部の軋轢は外consequence國人の侮りを受く況して內輪揉めが續きては到底國威の發揚難し

▲都督府を廢し領事に權力を與へるか領事を都督管轄の下に置くか二者其一を撰めよ

▲寧ろ民政廳として總ての事を之になさしむるが却て事績を舉るに都合よかるべし

▲近時墺國の勃興は刮目するの價あり盛に攫して攻勢的となれるは著しき現象也

▲陸海軍共に整備し海軍に稍遜色なき域に達せんとす墺國の勃興は今世紀の新現象

▲外交に於ても中々拔目なし皇帝の遠謀とエーレンタール外相の手腕は見上げた者也

▲露國は二萬の兵を被斯に送り更に續々增派せんとす此方面は露國御下に放置なし

▲北部被斯は英露協約により露の勢力範圍たり此方面の活動には何國も制肘せまじ

▲日英同盟の實際の經過は日墺提携拜露說は案の如く伯林邊に頭出でたる者と稍ちる

▲斯るペチン的外交は全く閉口する之に附ても我對滿策は大に警戒注意を要する也

▲秘露の騷亂は官軍暴徒を破りて大統領を奪還して平穩に歸せりと先づ結構の次第

●淸國密漁船捕拏

客月十五六日頃より全羅南道智島部牛耳島近海に淸國密漁船約[illegible]隻來りたる[illegible]警察署の探知する所となり直に稅關の巡船を同島附近に派し之れが搜査に盡力したる結果終に捕拿したるが同船は淸國山東省威海衛の密漁船にして同船は本年舊三月十九日頃[illegible]二十九隻にして內三隻の[illegible]積に爲しつゝありたるが更に步を進めて搜查したるに船數は約十噸乃至十二噸のジャンク[illegible]十里なる八口浦沖合に着し彌來牛耳島を根據として密漁を爲し漁獲物を同所に於て鹽魚を滿載して歸國し十九隻は沖合に出漁し七隻は根據地なる牛耳島に碇泊し居たるが各船にも一萬乃至二萬の鹽積ヒラ魚を貯へ居たりと云ふ

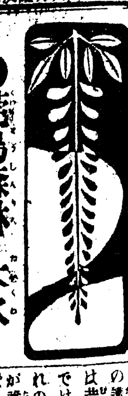
●永同小學校の近況

[illegible]立小學校五月末現在兒童數は四十三名敎員一名なりと

●清國密漁船捕拿

客月十五六日頃より全羅南道智島郡十耳嶋近海に清國密漁船約四十隻來りたる由木浦警察署の探知する所となり直ちに稅關の巡船を同島附近に派し之れが搜査に盡力したる結果終に捕拿したるが同船は清國山東省威海衛の密漁船にして同船は本年舊三月十九日本國を[illegible]十里なる八口浦沖合に着し彌來牛耳島を根據として密漁を爲し漁獲物を同所に於て鹽[illegible]稍に爲しつゝありたるが更に歩を進めて搜查したるに船數は約十噸乃至十二噸のジヤンク二十九隻にして内三隻の大船[illegible]魚を滿載して歸國し十九隻は沖合に出漁し七隻は根據地なる牛耳島に碇泊し居たるが各船にも一萬乃至二萬の鹽欌とう魚を貯へ居たりと云ふ

●[illegible]小學校の兒童 [illegible]會立小學校五月末現在兒童數は四十三名教員一名なりと



●莞島森林の大火

▲森林の大半を燒失す
▲原因は盜伐と暴徒か

莞島森林に大火あり四千町歩の大森林が大半烏有に歸したるが其火災の起りたるは去月廿日の事にて折柄吹荒む烈風のため煽りに煽られたる山火は一大焦熱地獄を見るが如き勢もて延燒し森林の全部を燒め盡さずんば已まざるの狀なりしが終に内面森林の殆んど全部を燒き盡して一先づ消火せりとは云へ火災は四日間に亘り其損害高は勿論詳細を知る能はざるも假りに森林の半を失ひたるものとせば金高に見積りて數萬圓以上たるべきも[illegible]世間の噂さるゝ如く莞島森林の價格が百萬圓もあるものとせば數十萬圓の損害たるべし

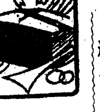
▲大火の原因 同島か近來暴徒の橫行地となりたるは蔽ふべからざる事實にして森林盜伐の盛んなるも又た有名なる事實なり此の二者は確かに火災の原因にして或者は暴徒が我討伐隊に追ひ迫られ退路に窮せるため森林に放火せるならんと云ひ或者は同地に於ける問屋が盜伐せし材木を販賣するの約を定めしも過般農商工部より視察者が來島せし以來森林監視の頓みに嚴重となりたるため意の如く盜伐する能はず手附金を使ひ果たして返す事も出來ず進退窮りたる餘り違約の口實を作らんがための放火なりと云ふが之れは詮索に過ぎたる議論にして實際暴徒等が常識なき暴戾を擅にせんとする一場の惡戲より斯る慘事を惹き起せるなるべしと云ふ

▲放火せし暴徒 然らば如何なる暴徒が此の暴擧を爲したるかと云ふに同日同島岡面にて商船水昌號を襲擊せる暴徒等が莞島邑守備隊のため追擊せられ暗夜に乘じて森林中に隱れたるが討伐のため掠奪意の如くならざるため無益の暴行を働くに至りしならんと

●草刈鎌で斬殺す

▲系統爭から遂に刃傷

去月廿九日慶尚北道慈仁郡下南面早谷洞居住安孝坤(四十二)と安丙哲(三十六)の兩人は日頃親しき間柄とて酒機嫌にて同所藥水池の邊りに草刈に出掛け堤に腰掛けて初めは藥水池の講釋などし居るうち双方の間にれの家は昔から兩班の系統だイヤれ前の家は兩班ではない、れの方が兩班だ、馬鹿を云へれの方が兩班だと双方兩班爭ひが起りたるが誰も外に仲裁する者なく兩班爭ひは水掛論となりイツ果つべくもあらず暫くは双方口角泡を飛はして兩班爭ひを爲せるうち安孝坤は口先きにては兩班爭ひ解決せぬとて突然立上り携へたる鎌を以て安丙哲に斬掛けたり安も負けずに立向ひたるが何分醉に醉ふたる事迚足元ひよろ／＼十分の抵抗出來ず安は得たりと突込み滅多打に打ちたりしかば丙哲はウンと一聲叫んで其場に倒れたる儘絶息したりと



紳士の遊興振

▲井上雅二君

宮内府書記官井上雅二君は在韓の浪人組より拔擢せられた中では頗る重用された一人である、君が入府當時は一人で宮内府を背負つて立つ程の氣慨を示したがさて役人になると浪人とは事變り萬事が六ケ敷と見へて氣慨通りに行かぬは是非もない事である、處が君は浪人時代より酒を呑む事と遊興をすることは決して人後には落ちぬから賴母しい、そこで君の遊興振はと云ふと是れは又頗る殺風景である、招く處の藝妓も行く料理屋も決して一定爲ない、其招きし藝妓に相對すれば三味線一つ彈かしめざるも酌を命じて大に呑む、呑めば直に自作に係る豪傑流の詩吟をやる、それから今度はバルカン問題又は蒙古談を初める、初めの程は藝妓達も解からぬながらへイ／＼と聞いて居るが軈てソロ／＼と遁げ出す、併し君はそんな事には頓着せず只の一人でも席に人が居る以上決して話の中絶は爲ない、話が濟んで十二時過にもなると時には暗燈屛裏の人ともなる、而して君の捕虜となりし者の談に依れば君が日頃訪問力の絶倫なるが如く屛裏の働きも飽迄精力主義で敵をして終夜呼吸に遑なからしむとは眞か……

次は松浦源治君

●白銅貨の行使 仁川龍洞米商李方根方に一昨日何者か僞造白銅らしきものを以て米を買ひに來りしことを後に發見し直に内洞派出所に訴へ出でたれば同所巡查は八方手を配り行使者を探查したる所崔景の五龍洞なるものなることを探知したれば出張の上取調べたるに右は同地李昌啓方にて家屋を破壞せる際壁中より同白銅一圓二十五錢包一個現はれ右を行使したるものなること判明したるが果たして僞造なるか又何故に壁中に匿したるものなるやに就いては目下仁川署にて取調中なりと

●翠丸を蹴飛す 明治町二丁目居住の車夫田公光(二十七)は去る三日午後四時半頃明治町二丁目より一人の日本人を乘せて東大門附近迄行き其れより永樂町一丁目農商工部前迄戾り賃金五十錢を請求せしに日本人は三十錢を與へたるに田は尚ほ二十錢を強請せしかば件の男は大に怒り非道にも田を亂打し其上力に任かして睾丸を蹴上げたれば田は其儘其處に卒倒したるを尻目に掛けて此方の男は逃げ去りたり斯くと急報に接して警官出張し田は直に警察署に於て手當を施し暴行者は今尚ほ搜查中

●糞車と衝突 明治町居住の車夫鄭大聖(四十)は一昨日午後五時頃滑稽新聞主幹山崎秀雄氏を乘せて南山町三丁目を疾走中向手より漢城衛生會の人夫金漢石(六十)が糞車を挽き來りしかば制規の通り右側に避けたるに金は反對に左側に避けたれば茲に兩車衝突して人力車は忽ち轉覆し車上の山崎氏はズデン堂と倒れたるも幸に負傷せざりしが其際車の梶棒が篠原某の硝子障子を打ち破りたれば警官出張して避方を誤りたる衛生會の糞車挽き金をして四十三錢を辨償せしめて事濟み

●海賊の出沒 仁川署管内通津郡沿岸に昨日未明海賊二名一隻の漁船に乘じて襲擊し來りたれば同所派出所巡查は直に出張逮捕に向ひたる由なるが詳細は後報を待つて詳報すべし

●無屆營業二件 仁川花町二丁目合田建太郎は去月二十三日隣家近藤彌五郎が不在玉突場を引受け營業し居たるに不拘何等の屆出でをなさゞりし廉にて說諭を受く▲又花町一丁目遊戯場竹中九郎も不認可にて營業したる爲め說諭を加へらる

●天然痘新患者 旭町一丁目五十八番戶郵便集配人堀邊九十郎(二十四)は去月三十日以來發熱の結果去る三日診定したるに輕症の天然痘に罹り居たれば直に青坡病院に收容さる

●歌舞伎座の替り は「軍人の仇討」全三幕にして役割左の如し

川上行義(伊井)軍醫守山勉(稻垣)兵士(泉)遊人猪之熊(原田)陸軍中佐本村金哉(屯田)兵士(大崎)藝妓ぽんた(河合)仲合れつね(金澤)藝妓三代鶴、兵士(川上)藝妓れ若(吉田)稻田曹長、船頭甚平(高島)刀屋三左衛門(長木)兵士山本(久保田)兵士田中(東)父川上重衛門(酒田)憲兵白木信夫(北村)高木千代三郎、谷本曹長(光本)船頭悴甚太郎(小伊井)

▲禁酒第一日▼ 僕が酒の爲めに失敗つた事は幾度か知れないが、未だ曾て身體に故障を覺へた事はなかつた、然るに頃日屢々臓に故障を起し時に劇痛を覺ゆる事がある、飲み方が少ないので臓の虫の機嫌を損じたかと存足しをやつて見ると益々以て痛みを增す止むを得ないので僕の一番嫌いな醫者さんに見て貰つた、處が是は臓加多見だと云ふ驪るとは、怪しからぬユスりとカタリは共に破廉恥罪で死神にも等しき奴だと云ふと、醫者殿據からず、されば彼等を征伐するには彼等の餌の種を斷つに限る其れは言はずと知れた禁酒さるのです、此いつ一本大に參つた、デモ今迄は酒の爲にこんな事はなかつたデスと強情を張つて見る、イヤ今迄は無くても今出來たのですと遣り返へされて、其上酒と情死するお積りなら御勝手にと附け加へられる、隨分意地の惡い醫者殿だと思つたが專門家の言ふ事だから一應聞かねばならぬ、其處で一定の期間止める事とした、一定の期間とは先づ一年だ、一年も辛抱すれば永遠に止める事も敢て至難ではない其れに酒を呑んで害はあるとも利益のない事は僕も能く承知して居る、其處で斷然禁酒を誓つて新聞に廣告をした、其廣告を書く時は實に悲しかつた、それから版に組んで機械に掛ける時はモウ一駄目だと諦めたもの丶、何んとなく名殘り惜しく思つた、其れから家に歸ると友人が呼びに來て居る、ドウか酒を飲まして呉れねば宜いがと案じつゝ行く、家の中へ這入ると果せるかな、プーンと酒の香ひが鼻を突く、ナー溜まらない、逃げ出さうかと思つたが、又如何なる用件があるかも知れぬので止むなく上へ通るマアーつとコツプを差す、僕は都合に依つて酒を止めた然らばビールをと大コツプを突出すイヤ酒と名の附く者は一切口にせぬ事となつた、と云ふと馬鹿を言へソンナ事が出來るかと友人は大笑す、出來ても出來なくても呑まぬ呑まねば話せぬ、ソレジヤ茶かサイダーでも出し玉へと注文すると平野水を一瓶ばかり取り寄せる、向ふは酒とビールをチヤンポンにやる僕は平野水を呑んで喰ひ且つ談す、平常なら酒を見ると臓の虫がグー／＼吐かすのだが決心して見るとなんとも吐かさぬ一時間程談を繼續し平野水で大に御馳走をパクツキ腹鼓を打つて歸宅した、是れで最も難關たる禁酒の第一日を無事に通過し何んとなく嬉しい樣な心地して安眠を貪つたのである(柳江)



▲兄妹に非ず

菫子「……私は迚も貴方とは結婚が出來ませんから互に……暮しましやうね……」 晃「いつまでも兄妹で……」と云ふんでしやう 菫子「いゝえ、伯母と甥で暮らしましやうと言ふのよ、私はもうチヤンと貴方の伯父さんと夫婦の約束したンですから」 晃「エ、エツ……」



▲日中八十度以上と云へば最早炎暑と云ふ可く、終日炎熱と勞苦に鬪ひ夕食の膳に向ひ最愛の妻が差せる冷しビールの一杯は實に天國に飛翔すべしだ(痛貳生)▲本町五丁目三一館には毎日九星吉凶判斷が出て居ります毎日見に行く譯には參りませぬが貴紙にも九星吉凶判斷を出して欲しいです賴みます亦同感者も多いと思ひます東京の諸新聞にも出て居るではありませんか(愛讀生)▲僕の友人柳江君が醫師の勸告に依つて禁酒したと云ふ廣告が昨日の新聞に出て居ましたが一体どんな病氣ですか君の酒量は僕の知る處では約二升位と思ひますが餘り多量に飲むからでしよう、禁酒爲なくとも節酒すれば宜いではありませんか(ふの字)▲御親切に難有、太した事はないが臓が少し惡ひ樣です、節酒すれば宜いと云ふたが飲み出すとどうも加減が出來ませぬ全く止めました(柳江)▲立派な家庭を持ちながら情夫をして居る連中が本町邊に澤山有りますが素破拔きませうか(立腹生)▲

醫師の勸告に依り一定の期間禁酒す 森柳江

許してやり玉へ(小僧)▲敢て提灯を持つ譯ではないが停車場前エーテーの丼は廉いぞシツカリ勉強し玉へ(泥醉書生)▲京城に結婚會社を設けたらよからうさもないと僕等見たよな世話好きは實際遣り切れない(出雲の神の從兄弟)▲京城の質屋は不安心だナゼか土藏がないからよ(質札)▲僕は何が好かんていつてパナマ帽子の擬ひの二圓五十錢か二圓位のを冠つて居る奴が好かぬさも本パナマを冠りたくても經濟が許さないといふ風があり／＼と見ゆるソレよりも小ザツパリと麥藁帽子を冠つた方が宜い(四王天但馬守)▲オイ何をグツ／＼して居るのだ滊車が出るぞと大きな男が別嬪のかみさんに云つて居る所を今朝南大門の停車場で見た所が其のかみさんは豈に圖らんや然り而して到底顏る付の曾春婦誰あらう本町一丁目理事廳裏の小料理屋に居る秀の方と知れたり(烱眼生)▲梅雨だから雨が降るのは當り前だが夫婦の中に水が漏るのは當り前おやアない尤も小供が出來ると夜鬪夫婦の中に洪水が起る……何うです記者さんコレでも小品文になつて居ますか(巨嚴生)▲言ひ廻はしは面白いが一寸もなつて居ません(係り)

(十)天氣豫報(自四日午後六時至五日午後六時)

北東の風雨

三日 最高溫度 最低溫度 (華氏) 八八、五 六〇、三

各種 洗濯石鹸 専門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用
京城旭町二丁目 (電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇度 年廿五体躯中等教育有簿記精通給料多額不望會社商店銀行等被雇たし確實保證人有 氏名在社(二七五)

●被雇度 年二十八身体强健多年建築請負業從事請負業主に雇はれたし給料不論確實保證人あり 氏名在社(二七三)

●被雇度 土木建築及官衙用達業に多少經驗を有する身元確實なる者同業者に被雇たし高給不望 氏名在社(二七六)

●被雇度 年廿五普通教育有る婦女會社病院商店の事務員又は奥樣ある家庭の上女中に雇れたし保證人あり 氏名在社(二七八)

●開校 私立裁縫徒弟學校開始す希望者は至急申込あれ規則書入用の向は郵劵二錢送付す 龍山本町三の六六 吉村又平治

●注意 紹介依賴者にして電話を有せざる方は依賴の際郵劵封入有りたし左なくは書類の通知をなすに由なし(係)

●買子募集 廿歳以上の男子六名入用 旭町一の六〇 旭町號賣所(二八〇)

龍山の霞城生に告ぐ 君とは別人なり(係)

物件部

●氷店賣却 氷店道具一切附屬品共賣却したし御望の方は電話千百八十三番へ

廣告

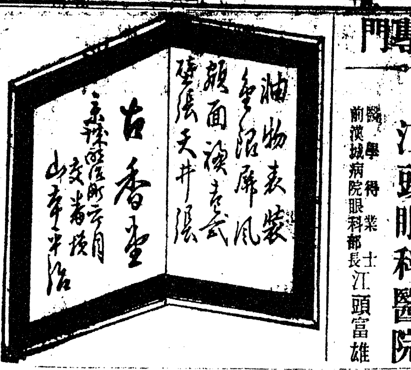
●求地所 大和町附近高燥にして眺望好き二三百坪の地所を格安にて讓受けたし 氏名在社(二七〇)

●求借家 韓人家屋にて人通り繁き横丁にて温突五六間の二階建及平家にても至急借受たし場所太平町北米倉町附近を望む 社內柏木(二七二)

●貸家 龍山元町電車通(チンカン局隣)地所七十坪韓家屋十八坪場所共格安賣たし 氏名在社(二七九)

眼科専門

京城本町一丁目參十四番戸 元藤井跡 (電話三十三番)
江頭眼科醫院
醫學得業士 前漢城病院眼科部長 江頭富雄



工場新築落成に付當分の間 三割引

●●●滋養と牛乳●●●
純良 牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番
●●●衛生と消毒●●●
馬車配達

警視廳許可 濟飲料 氷卸小賣
◉代價百匁に付壹錢貳厘◉京城市内は無賃にて迅速に配達仕候
京城永樂町二丁目(赤門横)電話九八五
吉田氷販賣部

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
各學校御用品調達

委託販賣
東京 ランバーグ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

高商大波瀾の眞相收めて本誌に在り

實業之日本

六月一日發行 第拾貳卷第拾貳號
郵税共 一部拾五錢 半年分八十五錢 一年分一圓五十錢 (分冊)一圓參拾錢(税共)

◉實業界に轉じて後悔せる小學教員……文學博士 谷本富
◉人生の危機は如何にして避くべきか……新渡戸博士
◉廿五歳までに廿回入獄せる青年の悔悟
◉時計店開業法……服部
◉時計店主に不平客を滿足せしむる法
◉貧村恢復の一人傑 村井吉兵衛氏の使用人觀
▲學政の禍源を撲滅せよ……大隈伯
▲教授辭職の理由……前高商教授 佐野善作
▲辭職講師承諾の理由……同 關一
▲商科大學問題に對する立場……同 瀧本美夫
▲文部大臣に與ふる書……高商同窓會員 土屋長吉
▲高商學生の進退は武士的なり……(社論)
◉店員を全力的に勤かすには……
◉店員の心を集注せしむる廣告法……
◉京都の實業家見立……
◉破産に處したる奮闘家……
◉如何に心得の主人に感心なる店員……增田義一
◉新渡戸博士の「現代社會觀」……本號より現る
◉大坂實業界に活動せる人物……都倉義一

東京京橋區南紺屋町 電話新橋八七四番 實業之日本社 振替貯金口座參貳六番 賣捌各地書店

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品
品質優等、意匠艶麗、
G.D. 印トルコ金口煙草(百本入 十本入)
外各種 百本入、二十本入、十本入とも
右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候
直輸入元 仁川本町二丁目 トルコ煙草商會 電話(七一五番)

開業御披露
本町二丁目本町座跡
ビヤホール 共樂園
庭園の閑雅なる器具の清潔なる待遇の懇切なる
低廉なる價格は共樂園の誇こする所なり

統監府御用 諸官衙人力車 荷物荷造及運搬
伊藤組
本店 京城本町三丁目(電話四〇番)
出張所 同南大門驛構内(電話七三二番)

旭興信所開始
實業人事 銀行會社商工業家の信用及取引調査人事に關する一切の事項調査
小生儀自由通信創業以來同社に從事致居候處今回辭任致し辱知諸氏の贊助を得て吾人が平素の所感と覺悟とを貫徹仕り度茲に旭興信所を開始仕り專心事に當るべく候間倍舊の御援助御高庇を希ひ度此段謹告仕候也
尚規約書御入用の御方は郵便切手封入申込あれ
東京市芝區芝口一丁目八番地 電話新橋四四八九
旭興信所 森實晶

會席御料理

本町八丁目 富士見樓

▲清潔の下宿▼
客室の清潔こ調理の美味こ御扱の懇切こを特色こして下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路 (元花屋跡)
かめ屋
▲懇切の下宿▼

六月五日ヨリ
夏物大賣出し

東京浴衣地類は本年特に澤山荷着致居候間何卒不拘多少御買上の程只管奉願上候
京城本町二丁目
三越吳服店出張所
電話參五貳

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九
東京海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

新町遊廓 井門支店 (電話三五九番)
弊樓儀開業以來四方御客樣方の御引立に預りまして家運益隆盛に趣き茲に五週年を迎ゆることゝなりました、就ては聊か自祝の印として六月一日より玉代、糸代、料理代等一切大に値下げの上精々勉强致すことゝ定めました、願くは舊に倍して御來車の程希上ます

特約販賣自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、◎精酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、壗辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

桶類 製造大安賣
明治町一丁目横町通
矢野商店

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町二丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

明治町二丁目七十五番戸
辯護士 岩田仙宗
電話三五四番

◉氣候變化と牛乳
◉牛乳と純良と消毒
韓國畜産株式會社
南大門外(電話八八番)

★株式會社 百三十銀行 京城支店
京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新湊
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、柳、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
臺灣 臺北、臺南
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱申可候

日本郵船株式會社
仁川 漁船出帆廣告 電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕店 電話九三番
◉釜山長崎門司神戸行 山東丸 六月 六日午後三時出
◉大連、太沽、牛莊行 高砂丸 六月 日正午時出
◉大連、大沽、牛莊行 山東丸 六月二十二日前五時出
◉大連、大沽、牛莊行 酒田丸 六月十七日正午出
◉釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 六月十六日午後
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄、送迎船ヲ以テ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月金 拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢 廣告五號活字十九字詰一行金五十錢▲特別
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三